

1. ICT 機器の製品名

- ・パソコン 3 台
- ・タブレット 1 台
- ・スマートフォン 6 台
- ・壁掛けモニタ スタンドセット 1 台

2. ICT 機器の導入目的

主として考える・判断することが難しい利用者へ AI 技術によって補い、できない作業をできるようにならないかと考え導入しました。

現状では工程の確認や不良品の判断などには利用者はスタッフから直接指導を受けることしかできていませんでしたが、比較的容易なものを (AI) ICT 機器により代替できればと思い今回の申請に至っています。

これにより現状、職員の手が回らず特定作業 (施設外) に従事できない利用者 (1 対 1 の形で付き添う必要性がある利用者) を従事できる状態に、また、わからない・判断しきれないことから手が止まりがちなことで効率があがらない利用者の作業効率が当事業所における平均的な水準まで上がればと考えています。

3. 導入した ICT 機器の内容及び活用方法

導入品内容として下記の通りになります。

- ・ surface LapTop6 Ep2-20949 3 台 (PC)
- ・ iPad Air11 (M3) MC9W4J/A 1 台 (IPAD)
- ・ iPhone16e 128G [Black] 6 台 (スマートフォン)
- ・ SONY BRAVIA 50 インチモニタスタンドセット KJ-50X80L (大型モニター)

施設内外の作業で PC・スマートフォン・タブレットを用途と作業スペースに応じて使い分けており、作業スペースが広くとれる場所には PC やタブレットを、達作業が中心となるような狭い作業エリアではスマートフォンを利用しています。

また、所内で全体的にそもそものアプリ導入方法の説明や、実作業上における工程や不良品の確認を行う際には大型モニタと接続する形で PC を利用しております。

作業時間においては導入目的でもふれたとおり、作業工程がわからない、あるいは順番を飛ばしてしまうような利用者に対して、その工程や注意点を説明するスライドを用いた AI アプリなどをそれぞれの作業エリア状の端末にて起動しながら作業。長文が読めず 1～3 単語の組み合わせなどでしか理解できない利用者も AI アプリ上の写真、画像に視覚的にわかる形の印 (赤丸など) や向きを矢印で表示されることである程度の作業をこなせるようになっていきます。

4. 障害者の生産活動の参加状況

これまで、弊事業所において主として療育手帳を持つ利用者は、主に工程が理解できず正確に進められない、OK・不良品の判断ができない、などの理由から従事できる作業が限られていました。

特に現在契約させていただいている施設外作業では引率する職員の人数上、たとえ利用者側からの希望があったとしても参加できない状態でした。

具体的に、今回特に導入先として考えていたタブレットのリサイクル・リユーズ作業を例に挙げれば、以下のようなA・B2つの工程があります。

A 工程	B 工程
1：拭取用具の準備	1：ケースとテプラ準備
2：端末番号の確認	2：端末番号の確認
3：開封	3：本体側テプラ貼付
4：端末背面の拭取	4：ケース付
5：背面の確認	5：2枚目テプラ貼付
6：端末表面保護フィルム破棄	6：次工程エリアへ移動にて完了
7：端末表面の拭取	
8：端末の状態表示（良品～傷あり）	

この内、細かくはA-2の時点ですでに番号の読み間違い、A-4, 5, 7ではどの程度の拭き取り状態でOKになるかの判断ができない、A-8でも状態を正しく区分けできないなどの状況で、B工程においてもB-1テプラの準備ですでに混乱が生じ、A-2と同様に端末番号の読み間違い、B-3, 5のいずれかしか貼られていない＝工程飛ばしなどが発生している状況でした。

ある程度能力が見込める利用者でも支援員同等の作業は難しく、一部の作業を支援員が受け持っても文頭でふれたとおり知的や自閉症などを持つ利用者の作業従事は全面的な見守りが欠かせないような参加は避けられませんでした。

5. ICT 機器の導入効果

主な効果として作業効率の向上と、取引先からの増員および利用者自身の取り組み希望に応じられたことでの工賃売り上げができたことは大きいと考えています。

3のような状態であった工程が理解できない、製品状態を判断できないというような複数名の利用者に対し、現在やるべき工程や判断基準が表示され、任意のペースで進められる2のようなAIアプリを使ってもらうことによって、作業困難であった理由のいくつかが解消され、職員が1人に対して全面的につくというような状態は回避することが可能になり、施設外先1か所に対して参加可能な人数が増えました。

該当する作業は施設外作業（最低賃金、時給を賄える）作業であり、取引期間の増大や月当たりにおける請負日の増加につながった結果、売上、ひいては利用者たち自身の給与、工賃にも大きく反映されました。

結果として、7年度におけるB型事業利用者で月6万円。（昨年度は平均工賃として4万円前後）を超えるような利用者も生まれ、今後の利用意欲や実感も得られている様子が感じられます。

6. 今後の課題

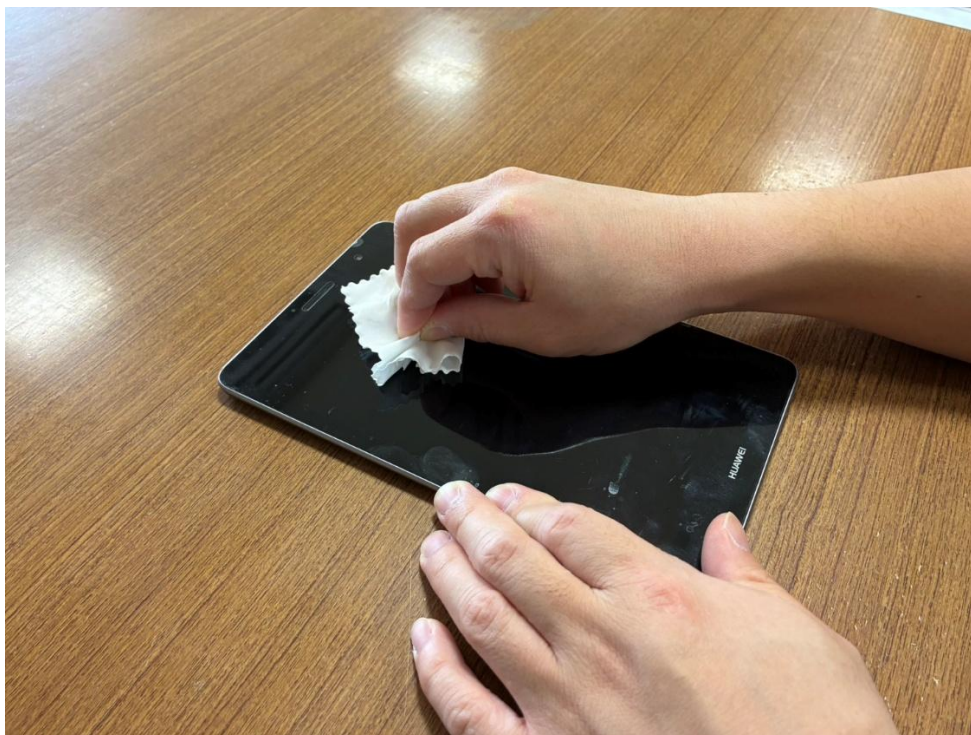
現状、社内で作れるAIアプリではまだ補助しきれない利用者も残念ながら発生していますので、今後もし同様の機会や類似する補助事業があれば、AIアプリ自体の見直しや、不良品判定用のセンサー機器などの導入を

検討したいと考えております。

7. スタッフ、利用者参加の社内においての研修写真



実作業（取引先の許可が得られなかったため商品など代用）



作業指導ツール

localhost:3000

検索

ヘルプ

設定

チャット

作業指導ツール

閲覧

編集

作業一覧に戻る

施設外就労

タブレットリユース（拭き取り）

ステップ 6 / 8

75%

端末表面の拭き取り

6

全ての汚れを可能な限り拭き取ります。→指紋が残っている状態は不良とします→画面上部の黒ずみ（手垢など）が発生している場合があります。必ず確認してください。

写真を見る

不良サンプル



この汚れ（手あか）状態では不良です

前へ

次へ